

シグマ研究委員会 JENDL 積分評価W.G

1977 年度 . 第 5 回 会 合 議 事 録

日 時 : 1977 年 12 月 14 日 13:30 ~ 17:30

場 所 : 原研東京本部 第 31 会議室

出席者 : 菊池, 長谷川(原研), 宝珠山, 佐々木(MAPI), 亀井(NAIG),
松延(住友), 山本(FEO), 大竹(PNC), 瑞慶覧(PNC, オブザーバー),
飯田(NAIG, オブザーバー)

配布資料

- (1) A. Zukeran : Specification of Cell Calculation and Spherical
Core JENA-001
- (2) A. Zukeran : Information for ZPPR-3 Experiment Analysis
..... JENA-002

議 事 :

(1) セル平均断面積計算法のテスト

- JENA-001 に基いて瑞慶覧氏より説明があった。
- MZA に対して Homo と Hetero の両者を計算する。
- 出力量は
keff, cell averaged microscopic cross section, macroscopic
cross section, fine structure of flux, spectral indices

(2) 縮約効果のテスト

- 均質計算を ZPPR-2, MZB, FCA-V-2 について 25 群で行い原研の行
う 70 群計算と比較する。
- 25 群定数は NAIG が ZPPR-2 のスペクトルで作成する。
- 比較は keff と spectrum indices で行う。

(3) f-table の内挿の効果

- f-table の内挿について、U-238 を EXPANDA 方法(左2点, 右1点の2次曲線)とその反対の極端(右2点, 左1点)で計算した結果を菊池氏が報告した。
- その結果 ZPPR-2 の keff で 0.4%, Doppler 係数では 6% の差を生じ無視できないことが判明した。
- 原研ではとりあえず、この両者の平均値を用いることにした。

(4) σ_{tr} の定義

- 25群に縮約する際の σ_{tr} の定義について議論があり、矛盾のない事を確認した。

(5) ZPPR-3 詳細解析の仕様

- 瑞慶覧氏より JENA-002 に基づき、過去に原研で用いたモデルを使用する様に要請があった。
- 一方 NAIG では別のモデルで入力をすでに作成済みである。
- JAERI-Fast set での計算との比較の重要性から、できれば原研モデルを使用するのが望ましいので、原研の入力カードの入手可能性を調べる事になった。
- この問題は次回までに NAIG と PNC で話し合う事になった。

(6) その他

- 今後、会合の配布資料に JENA No を打つことにした。

次回会合

12月28日にPNCで担当者だけの打合せをする。